

モリコロパークの隣で考えるアントレプレナーシップ教育

Report

Day2

2025年10月25日(土) 9:00~17:00

AI・ロボットの最新技術を体験する

会場 愛知県立大学 次世代ロボット研究所 (R棟)

オリエンテーション

愛知県立大学で研究・開発している
ロボット・AIのデモ及び技術説明

- ・生徒と共に学ぶ学習ロボット
- ・対話型ヒューマノイド型ロボット
- ・自律型サッカーロボット
- ・人間支援ロボット
- ・3Dセンシング環境

企業の最新ロボットのデモ及び
技術説明

- ・自動枝打ちロボット
- ・触覚内蔵ハンド
- ・遠隔操作による人協働ロボット

グループディスカッション
本日の見学で気づいた点(面白い、
素晴らしいと感じた点、もの足り
ないと思った点等)について話し
合った。

STEP
1

愛知県立大学で研究・開発しているロボット・AIのデモと技術説明

愛知県立大学でAIやロボットの研究開発に携わっている大学生たちから、各ロボットの開発目的、活用意図、技術説明等を受け、デモンストレーションを見学してもらった。生徒の学習をサポートする共同学習ロボット、対話型ヒューマノイドロボット、自律型サッカーロボット、自走して物を運ぶ人間支援ロボットを見せてもらった後、3Dセンシング環境とこれに伴う館内設備について教えてもらった。

STEP
2

企業の最新ロボットのデモと技術説明

最新ロボットに使われている技術を丁寧に説明してもらったほか、起業し、ビジネスを続けるために必要な情報を提供してもらった。また、ロボットに触れ、動かすという体験もさせてもらった。

● 自動枝打ちロボット

林業の人手不足解消を目的に開発された、樹木に登り、自動で不要な枝を切り落としてくれるロボット。技術的には素晴らしいロボット。計画通りに販売が伸びていないが、その理由・原因等を伝えてもらうことで**起業や会社運営の厳しさを認識**してもらった。

● “人と同じように掴める”触覚内蔵ハンド

ロボットの指先に搭載した視触覚センサーで対象物を正確に認識し、柔らかいものでも持てるようにした高度な技術。食品業界の人手不足という**社会課題解決に貢献**しており、ビジネス展開を考える機会となった。

● 遠隔操作による人協働ロボット

目の前のロボットと遠方のロボットを通信でつなぎ、二つの動きをリンクさせる技術。PC画面で遠方のロボットが意図通りに動くことを確認。**ロボット単体以外にも技術の進歩がある**ことを感じてもらった。

STEP
3

グループディスカッション

講義とデモの中で、面白い、素晴らしいと思った点、物足りないと感じた点等をグループで話し合ってもらった。技術力の高さと繊細さに驚いた、社会課題の解決はやりがいがありそう、等の声があがっていた。